



安定液分散解膠剤

マーゼル® SH

マーゼル SHは新たに開発したポリカルボン酸塩系の液状高性能安定液分散解膠剤です。

安定液の分散解膠剤には、従来からポリリン塩酸、アルカリ炭酸塩などが広く使用されてきましたが、マーゼル SHはこれらの分散解膠剤に比べ、多くの優れた特長を有しています。

〈性 状〉

外 観	淡黄色液体
pH (1%溶液)	4.5 ~ 6.5
比 重	1.26~1.30
イオン性	アニオン性

〈特 長〉

1. マーゼル SHを添加した安定液を使用すると、セメント無機塩類、掘削土砂混入による安定液のゲル状化防止に優れた効果があり、安定液の転用回数を高めると共に、掘削効率も向上させることができます。
2. マーゼル SHを添加すると沈砂層における安定液混入土砂の沈降分離や掘削溝(孔)でのスライム除去が短時間で行えます。
3. 耐塩性CMC(当社品名 マドコン)やポリマー(当社品名 DK ハイポリマー)を用いた安定液にマーゼル SHを併用することで、海水の混入する地盤掘削やコンクリートカッティング工法へも対処できます。
4. マーゼル SHはポリリン酸塩や炭酸ナトリウムなど他の分散剤との併用や、炭酸ガス中和法との併用も有効です。

〈取り扱いおよび保管上の注意〉

1. 雨水に当たらないように屋内に保管してください。屋外保管の場合には、必ず保護シートをかけてください。
2. 開封後は異物混入を避けるため、密閉し保管してください。
3. 手や人体に付着した場合、すぐに多量の水で洗い流してください。特に目や口に入った時はすぐに多量の水で洗い流して、医師の診断を受けてください。
4. 使用した残りや容器の洗浄水は河川や下水に流さないで、安定液に戻してください。

〈使用方法〉

1. 新安定液作製時添加

マーゼル SHの溶解方法

従来型攪拌翼形式またはジェット吸引形式では、安定液を製造する際、所定量のマーゼル SHを添加して5～10分攪拌すれば安定液を調製できます。

一般的な添加順序は次のとおりです。

清水 ⇒ ベントナイト ⇒ ポリマー (CMC) ⇒ マーゼル SH

マーゼル SHの新液標準添加量 (有姿 kg/m³)

土質	安定液種類	
	ベントナイト系	ポリマー系
シルト・粘土層	1.0～3.0	0.5～3.0
砂・砂礫層	0.5～1.0	0.0～1.0
滞海水地盤	1.0～3.0	0.5～2.0

2. 劣化安定液の再生

添加方法

- ① 高濃度にマーゼル SHを溶解した安定液を調製して、劣化安定液に混合して粘性、濾水量を改良して再生させる。
- ② 溝内や循環槽などの劣化安定液に直接マーゼル SHを添加して攪拌溶解し、再生させる。

マーゼル SHの標準添加量 (有姿 kg/m³)

劣化要因	安定液種類	
	ベントナイト系	ポリマー系
セメント (0.5～2.0%)	1.0～3.0	0.5～2.0
海水 (Cl 2,000～5,000ppm)	1.0～3.0	0.5～2.0
掘削土 (比重 1.10以上)	1.0～2.0	0.5～1.0

〈使用上の注意〉

1. マーゼル SHの添加量は掘削地盤，劣化要因およびその度合いによって適宜変えてください。
2. 掘削土混入によって高比重，高粘性化した安定液はマーゼル SHを添加しても，粘性は低下するが，比重はあまり低下しない場合があります。このような時には新液の添加，安定液の水希釈，デカンターによる土粒子の強制除去などの方法を併用してください。

〈安全性〉

1. 魚毒性
LC₅₀ 2,000mg/ℓ (ヒメダカ) 以上
2. 急性毒性 (LD₅₀)
本品はマウスを用いたLD₅₀値が，10g/kg以上の成分で構成されています。
3. 既存化学物質No. (6)-901

〈荷 姿〉

缶 入 20kg詰

特殊荷姿 (コンテナ等) については別途ご相談ください。

〈お 願 い〉

1. この資料に記載されているデータは当社の実験的試験資料に基づくものですが，実際の現場使用結果を保証するものではありません。現場での使用に当っては事前に使用条件，使用方法およびこれらの条件下での効果をご確認ください。
2. 記載内容は，新しい知見などにより，改正されることがあります。

